

部長	理事	課員	担当者

## 議 事 録 要 旨

会議名	第4回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日 時	令和元年7月29日(月) 19:30~21:30
場 所	あわらし役所 101 会議室
出席者	<p>&lt;部会員&gt;</p> <p>市民/笹原修之(部会長)、高木めぐみ、西田幸男、八木康史  福井工業大学/川島洋一(教授)  (一社)あわらし観光協会/津田香由紀  あわらし文化協議会/堀田あけみ  あわらし商工会青年部/松川秀仁  花咲ふくい農業協同組合/唯内 努  音泉組/青柳淳一  農家カフェ/藤井和代  ゲンキッズステーション ASOVIVA!/長田康秀</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>新幹線まちづくり課/永井理事、翠補佐、赤神主任  商工労働課/中島補佐  観光振興課/堀江課長、細川補佐、杉本主事</p> <p>&lt;オブザーバー&gt;</p> <p>あわらし/佐々木市長  (株)木下設計/木下貴之、片山雅哉  (株)コム計画研究所/鈴木奈緒子</p>
欠席者	<p>&lt;部会員&gt;</p> <p>市民/森嗣一朗  花咲ふくい農業協同組合/山口利志実  芦原温泉旅館協同組合/山口賢司  あわらしコミュ/圓道千鶴子</p>
内 容	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 部会長あいさつ</b></p> <p><u>部会長:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期に集中して進めていかないといけないため、これまで頻度を高めて部会を開催してきたが、まずは、皆様のご尽力に感謝したい。</li> <li>・この間、市民の声や行政の進捗等を聞いていく中で、時期も差し迫ってきているので、どこかで決断していかなければならないと感じている。行政がある程度決めてつくるものや、我々市民が腹を決めてやると言ったことはやると決断する時期が来ていると思</li> </ul>

う。屋根付き広場にしても、意見によって多少修正・変更があるかもしれないが、専門家の方々の意見も踏まえながら、大筋は合意していると認識している。とはいえ、最後に後悔しないように自分たちならこういうことができる、こういうものがほしいなどといったことを意見しながら反映できるところは反映していきたいと思う。

- ・本日も限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 3 協議事項

#### (1) 西口駅前広場の平面計画について

オブザーバー：

- ・資料「これまでのデザイン部会の意見取りまとめ」を基に、「飲食系」「映像・音楽系」「スポーツ系」「地元系」の4つのカテゴリーに分けて、広場・ホールの活用イメージや検討事項を説明

※ 適宜、スクリーンに活用イメージを映して説明（配付資料はなし）

事務局：

- ・ただ今の説明を受けて、部会員の皆さんからご意見をお願いしたい。

部会長：

- ・配付資料の平面図は、前回から変更があるのか。

事務局：

- ・変更はない。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・ハピテラスで飲食系のイベントをやろうとすると、保健所の指導により、例えば2層式シンクに水道を接続しないといけないなど、イベント業者を入れて準備をしないと大変なのが現状である。予めそういった設備を用意しておく、小規模な飲食イベントであれば容易に実施できると思うが、そのような計画はあるのか。

オブザーバー：

- ・ハピテラスでは排水のルートがうまくいっていないように聞いている。人の動線に排水してはいけないと思うので、広場の中のどの辺にブースを予定しているなどの想定があれば、それに対応した排水を計画したいと考えている。

部会長：

- ・各テントに2層式シンクや手洗い器が必要であり、テントの配置もイベントによって様々であるため、常設は難しいと思う。設備業者がその都度接続する費用のことを考えると、買うよりレンタルの方が安価ではないか。運用面に配慮すると、排水を決めて地下にパイプを整備して、この場所にテントを置いてくださいというようなルールを設けることも必要だと思う。自由にどうぞやってくださいというルールだとコスト的にかかるし、だいたいの方は、費用がかからない手法を選択すると思う。

部会員（福井工業大学教授）：

- ・ある程度想定して整備しておく方が、プレーヤー側もやりやすいと思う。

オブザーバー：

- ・広場の中央にテントを置くとホール内の大型ビジョンが隠れてしまうことも考えられるので、現時点では外周部の柱付近に設けることが望ましいと思っている。

部会長：

- ・ホール部分を広くすることは可能か。

オブザーバー：

- ・屋外広場をいじめることにはなるが可能である。仮にライブを行う際に大型ビジョンに向かって 200 席設けようとする、一部ホールをはみ出すこととなるため、そういった検討も必要かもしれない。ホールの中にブースを入れて、ホールを充実させることも一つの考え方である。

市長：

- ・いろいろなイベントを行うことや、音響のことを考えたときに、今のホールの大きさで対応できるか懸念される。例えば、おしえる座あゝの場所を倉庫として活用することでホールをより広く使うこともできるため、現在検討を行っている。他にも、在来線駅舎側と 105 号線側とで約 80 センチの高低差があるため、ホール東側（駅舎側）に段差を設けて解消するのか、105 号線の歩道部分で解消するのかなど、広場とホールの使い勝手を考えながら検討を行っている。
- ・また、飲食・物販店舗に何が入るかにもよるが、観光案内所のスペースが小さいように思うのでもう少し大きくした方がよいのではないかと検討も庁内で行っている。
- ・東西自由通路についても、当初は上りのエスカレーターのみを計画していたが、下りのエスカレーターも必要との声が大きいため、上下両方を付けられるよう調整を行っている。そうした場合には、費用のことを考えると、賑わいホール方向のエスカレーター設置は難しいため、エレベーターとらせん状階段で賑わいホールと魅力体感施設へ誘導することになる。
- ・この他、金津祭の山車を広場内に展示したいという要望を受けているが、ホールを大きくするとガラス面や柱が弊害になることも考えられるので、ガラス面の高さを高くしたり柱の本数を少なくしたりするなどの検討も行っている。
- ・先日、商工会から、a キューブと金津本陣にぎわい広場の活用について、現在の配置だと使い勝手が悪いので配置を変更してほしい、屋台村湯けむり横丁のような店舗をつくってはどうかなどの提言を受けた。土地活用検討街区にビジネスホテルが立地した場合に、その中に商業施設が入る可能性もあるため、エリア全体をみて検討していきたいと思う。デザイン部会においても、a キューブや金津本陣にぎわい広場の活用について、アイデアをいただけたらと思う。

部会員：

- ・仕事でお客から年金事務所が近くにあるとよいというような意見を月 2～3 人から受けている。都会では駅内に公共施設があることはよくあるので、2 階の打合室が適当かはわからないが、そのようなことも検討してほしい。

市長：

- ・年金事務所からも要望があれば、検討の余地はあるかもしれないが、今は何も聞いていない。とは言うものの、現時点でスペースに余裕がないことは事実である。

部会長：

- ・市長から、おしえる座あゝや a キューブの今後の活用についても併せて検討していくような話があったが、これまではその部分は議論せずに西口駅前広場についてのみ検討して

いこうということだったと思う。

市長：

- ・現時点では、おしえる座あのスペースを使えるということは言えないが、観光案内機能をホール内に移すことは決まっているので、その空きスペースをどう利活用するかということもホールの設計を行う上で関連があるという意味で発言した。来月には並行在来線を運営する第三セクター準備会社が設立され、自分も役員となるので、おしえる座あのスペースを活用できるように働きかけていきたい。そのために、今のうち皆さんからご意見をいただきたいと思う。

部会長：

- ・ホール内にテーブル、椅子等を収納する倉庫を設置することはもったいないと感じる。自動販売機コーナーやロッカーも駅内にあるものだと思うので、駅舎の壁面に並べるなどして現在ホール内に計画しているものを移すことができれば、ホール内をより有効に使えるのではないかな。

オブザーバー：

- ・同感である。ホールの面積が限られているので有効的に活用できるように検討していきたい。

部会長：

- ・a キューブでフリーマーケットをする際に、天気が良いので出店者に屋外スペースに出てもらったことがあるが、風で小物が飛んだりして大変だった。出店者からも外より屋内でやらせてほしいとの声があった。そのことを考えると、ホール（屋内）の面積を広げた方がイベント等をしてくれる人が増えるのではないかな。現状から変更があるのであれば、イメージパースがあるとイメージしやすい。

オブザーバー：

- ・平面計画がある程度固まった時点で、イメージパースを提示したい。
- ・広場とホールをどっちかに振りきった方がよいのではないかな。現計画では、広場で3 on 3をするにしても狭いし、ホールでライブをするにもしても狭い。これまでの皆さんの意見を聞いていると、ホールの外壁線を広場側に広くして内部を充実した方が合致するのではないかなと思う。

市長：

- ・大型ビジョンもホール内の東（駅舎）側に設置した方が使い勝手がよいと思う。電車の発車時刻を知らせるモニターは別に必要となるであろう。
- ・空調もホールが広いので快適な空間とまではいかないかもしれない。県庁の1階ホールみたいなイメージかなと思う。

オブザーバー：

- ・軽トラ市など、車両を入れることを想定すると床から吹き出す空調は採用しづらいので、天井や壁に空調を取り付けることになるであろう。

市長：

- ・垂れ幕や七夕やクリスマスツリー等の設置場所も検討しなければならない。

部会員：

- ・無作為に100名程度を対象に、「新しい駅前広場に何があったらいいか」という独自ア

ンケートを実施している。まだ回収途中であるが、圧倒的に飲食店（特にカフェ、軽食、子連れで楽しめる施設）がほしいという意見が多かった。

市長：

- ・当初はスターバックスの誘致を検討していたが、あまり捉われすぎると身動きが取れなくなるので、ホール内の飲食店舗はカフェレストランとし、地域の逸品を販売する物販店舗に入ってもらう方がよいと考えている。

部会員：

- ・アンケートの中で、何が心配かを聞いてみたところ、（ホールは）中途半端なことをするくらいなら待合室にした方がよいとの意見もあった。

市長：

- ・土日や夏休み期間は別として、平常時に音楽系のイベントをやるということはほとんどないと思う。魅力体感施設のフリースペースで展示しきれない場合に、ホールで展示したりするような場として活用されるなど、静かな空間であることを想定している。
- ・光を使ったイルミネーション等を活用して、ぼんぼりや季節に応じた演出を検討したいと思っている。

部会長：

- ・（夜のイメージパース（配付資料なし）を見て）近くに立ったときに柱の光の演出は見えるのか。

オブザーバー：

- ・アッパーライトなので見上げれば見えると思う。

オブザーバー：

- ・まずは、活用方針を決めた方がよいと思う。非日常のイベントのときは、四季を通じたクラフトマーケットやマルシェなど、創作の森や農家の方やJ Aが本物のモノを持ってくるようなレベルの高いことをやっているとよいと思う。例えば、春秋は収穫祭（あわらの農業を魅せる）、夏は金津祭のフェア（山車の展示等）、冬は女将の酒やカニやそばの振る舞いなど、年4回皆が結集して開催するとあわらしさが出ると思う。その他は、月1回程度、貸し館としてイベントを受け入れられるとよいと思う。スポーツであればトリムパークでやればよいし、かるたなら旅館の大広間でやればよいと思う。イベントによって相応しい場所があるはずであり、観光案内所や魅力体感施設でその場所へ案内・誘導していくことが重要である。
- ・日常的な活用の仕方によく目にするのが、駅のスターバックスに学生やビジネスマンがいっぱい集まっていて、他の場所がガランとしている光景である。全国各地を回っていると、仕事に行く前にちょっと駅前で時間を潰したいというビジネスマンがたくさんいるので、日常的な使い方を「賑わいホール」というよりは「安らぎホール」みたいな形で、サードプレイス（自分にとって心地の良い時間を過ごせる第三の居場所）として位置づけられるとよいと思う。金津高校生でいえば電車が来る前に少し勉強をしたり、高齢者がちょっとくつろげるように、テーブルや椅子を置いて、音楽を静かにしておく方が旅人としてもありがたい。そういった形で、日常的な使い方にも変化をつけるとよいと思う。ライブとマーケットをいっしょに行うことで相乗効果を高めたり、a キューブにも出店してまちに広がりを持たせる、こういったエリアプランを、駅前商店街等のエ

リアごとの機能や景観等も含めてゾーニングできるとよいと思う。

市長：

- ・四季折々の確たるイベントは、市主導で行うべきだと捉えている。頻度についても、月1回程度というよりは週末は何かしら埋めていきたいと思っている。また、マルシェや物販については、市主導ではなくJAや担い手農家等を中心にペイできる仕組みで行ってもらいたい。
- ・先般、坂井市の方から、「芦原温泉駅はあわら市だけでなく坂井市の駅でもある。坂井市の人も使えるように考えてほしい」と意見をいただいた。周辺の市町のいろんな団体にも声掛けをしていく必要があるし、広場を運営する組織や会社もこのようなことを念頭に置いて検討を進めなければいけない。観光協会にあれもこれもと運営をお願いするのではなく、観光案内部門はおしえる座あに依頼するなど、別に運営組織を立ち上げることも検討していきたい。
- ・駅前商店街についても、新富の人たちに任せきりにしても難しいという意見も聞いているので、いろんな人が入りやすい体制を整えてあげないといけないと思う。そういうことも考えると、aキューブのエリアも一体的に考えていかなければいけない。

オブザーバー：

- ・まちづくり会社については、県内すべての状況を把握し、専門でやっている。イベントをするだけのまちづくり会社というものはなくて、空き店舗やまちなかを再生するためにハード整備を伴うテナントリーシングやサブリースを行う機能が一つある。イベントについては、主催者というよりは支援する立場に位置づけられる。そして、指定管理の業務形態で、指定管理料を財源にしてまちづくり会社を運営していくものである。最近では、DMO (Destination Management Organization) といった観光商品を販売したりすることに特化する機能も有する。あわら市の場合は、駅前広場の管理運営の指定管理と、駅前商店街の空き店舗を埋めていくことを、一体的にエリアマネジメントしていくとよいのではないかと思う。

市長：

- ・個人的には、今ほど説明のあったまちづくり会社はあわら市では難しいと思う。福井市の規模ならペイできるであろうが、駅前広場でペイできる仕組みは難しいし人件費も捻出できない。商店街の再生は、商工会や商工労働課で専門的に行うべきだと考えている。

オブザーバー：

- ・まちづくり会社のダメなところの反省を活かして、勝山や小浜や敦賀では、体制を見直して若手の優秀な人材を登用して変わろうとしている。指定管理料が大方の収益でこれを財源にして運営しているのはどのまちづくり会社も同じで、会社単体で自立して運営していくのは無理だと思う。

部会員：

- ・仮にあわらでまちづくり会社を立ち上げようとする、プロパーは何人くらい必要か。

オブザーバー：

- ・人材にもよるが、2～4人くらいだと思う。

事務局：

- ・組織運営の件は、次回以降に協議していきたいと思う。これまで様々な意見をいただい

たが、資料に反映されていないことや、貴団体としてこれだけはどうしても必要だという意見があればいただきたい。

部会員：

- ・椅子やステージ等の備品を地下に収納できるように検討いただきたい。ハピテラスもそうしている。

部会員：

- ・十分反映されていると思う。前回も申し上げたが、移動式の液晶モニターは必要だと思う。

事務局：

- ・ホールの大きさや液晶モニターについては、次回部会で平面計画に反映できると思う。

部会員：

- ・段差ができるということだが、スロープを付けるということか。

市長：

- ・その予定である。どこで段差をつけるかは、今後検討して決めていきたい。

部会員：

- ・移動販売車で冷凍・冷蔵したい場合に電源が必要となる。ハピテラスで出店した際に、何台か並んで電源が足りず発電機で対応していたが、こちらでもそうなるのか。そんな広いスペースでないのであれば2台くらいの電源が確保できればよいのかもしれない。

オブザーバー：

- ・本日の協議を踏まえて、どのくらいお店や車が入るのかレイアウトを見直して、電源の数を検討したい。

部会員：

- ・食のイベントでブースが多く必要となった場合に、a キューブと連動して実施するとなると、a キューブで電源は十分に取れるのか。

事務局：

- ・a キューブの電源は、音響設備等にも対応している。

部会員：

- ・移動販売車は入れないのか。

事務局：

- ・移動販売車が入れるようにはなっていない。

部会員：

- ・キッズスペースは、魅力体感スペースに設けるのか。

市長：

- ・常設のキッズスペースは設けるが、それほど広くない。1階のホールは、平時はテーブルや椅子を置いて、安らげるスペースとしての活用が主になると思う。イベント的な使い方として、安全柵を設ければ、子ども向けの遊具等を置くことも可能だと思う。先ほども話したが、子ども向けのイベントを行う場合にホールの中ですべて収まる方がよいので、その点にも考慮してホールの広さの適性を検討したい。

部会員：

- ・ちょっとした話し合いをするのに、夜開いているお店が少なかったり、公民館等を借り

るのも面倒なので、そのようなスペースがあるとよいと思う。駅前に行く動機にもなると思う。自身の子どもがJRを利用して通学しているが、芦原温泉駅には勉強スペースがないので、ハピリン等で勉強してから遅い時間に帰ってくる。ちょっとした勉強スペースがあると、迎えの時間も早まっていいなと感じることがある。

市長：

- ・昔から生涯学習センターや図書館が子どもたちの勉強の場になっていることがおかしいのではないかと議論がある。駅前が勉強の場になることがいいのかということも慎重に考えなければならない。芦湯のように、自然体で勉強しているのであればよいと思うが、こちらが意図的にそのような環境をつくってしまうと批判があるかもしれない。

部会員：

- ・文化協議会は趣味で集まって活動しているので、お客を魅了するレベルには至らない。ホールが駅の待合室としての機能も備えていることを考えると、自分たちの活動が果たして適当なのか疑問である。

市長：

- ・単体でランダムにイベントを行うのではなく、春の文化祭、秋の文化祭といった感じでステージを設けて各団体の発表の場を集結させるとまとまりがあつてよいと思う。

部会員：

- ・軽トラ市や金津祭の山車のことを考えると、地面がアスファルトだと味気ないし、タイヤだと滑って危ないように思うし、白い床だと軽トラのタイヤの跡が残るであろうし、その辺に配慮した材質で検討をお願いしたい。

オブザーバー：

- ・滑りにくい石かタイルを採用したいと考えている。

部会員：

- ・宇都宮に住んでいたときに積雪時にタイルで滑って転んだ経験があり、タイルは危険だと思う。

オブザーバー：

- ・物を落としたときに放置しておくとも染みたりすることもあるので、そうならない材質を選んでいきたい。

市長：

- ・越前おおの結ステーションの広場を参考にしてほしい。

部会員：

- ・金津祭の山車をホールに入れるという話はなくなったのではないかな。

市長：

- ・ホールではなく広場に入れることを検討している。

オブザーバー：

- ・ガラスが弊害になるかもしれないので、一部開けておいて入れるようにすることなども考えていきたい。

部会員：

- ・コンサートは、サマーコンサートのような規模をイメージしているのか。

事務局：

・客席 200 席規模のコンサートであれば十分実現可能だと思う。

市長：

・両中学校、金津高校が年 2 回くらいずつ開催してくれるといいなと思う。

部会員：

・ホールの飲食店は、夜 8 時くらいで閉まるのか。

市長：

・まだ決まっていない。

部会員：

・屋台や移動販売車が、夜間でも営業できるようなシステムをつくってもらえるとよいと思う。

・駅前通りの街灯（新富区所有）について、タペストリーや旗が立てられるようなデザインにリニューアルする予定なので、駅前広場のライトアップやイルミネーション等とも連動できるように配慮をお願いしたい。

市長：

・飯山駅では、ワゴンをレンタルしていろんな人がいろんなものを販売できるようなことをやっている。

事務局：

・ご意見いただいた街灯については、駅前広場の整備と統一性を持たせられるよう検討を行っていきたい。

部会員：

・飲食店舗に何が入るかは非常に重要だと思うが、家賃はいくらくらいかかるのか。

事務局：

・これから検討を行っていくため、現時点で未定である。

部会員：

・大阪に「ザ マーケット」という個人商店があって、毎日のようにマルシェを開催していて BBQ 形式で食べることができる。野菜を買って帰る人も多い。このようなお店を誘致できたらいいなと思う。

オブザーバー：

・これくらいのことをしないと若い人や女性客は来ないと思う。

部会員：

・こういうお店は魅力的だが、この場所で利益を生み出すことができるのかということに尽きると思う。親子連れも入りやすいし、ビジネスマンもコーヒーが飲めるなど、採算が合わないと出店しないだろう。

・新幹線駅ができるのと今の在来線駅舎内にあるセブンイレブンはどうなるのか。

事務局：

・新幹線駅舎にもコンビニが入ることが予想される。そうすると、在来線駅舎内のセブンイレブンは撤退するかもしれない。

部会長：

・これまでイベント中心にホールの検討を行ってきたが、待合所として利用するために置くソファ等は、イベント時には退かすということか。夏休み期間中は芝政行きのお客で

待合所がいっぱいになることが予想されるが、そのときにイベントを行うとスペースの使い方が難しいのではないか。

オブザーバー：

- ・ソファを置くかはわからないが、通常は待合用にテーブルセットを置いて、イベント時には場所を移動するか、片付けることになるであろう。ホール内がいっぱいになれば、飲食店舗に移ってもらうか、2階の魅力体感施設内のフリースペースに行ってもらうことも考えられる。

事務局：

- ・本日いただいたご意見は、次回平面計画を提示する際に反映していきたいと思う。

## (2) その他

**【次回開催日時】**

- ・ 8月30日(金)19:30～ あわら市中央公民館 多目的ホール
- ※ テーマ「市民活動によるまちづくり事例の紹介(仮)」(川島先生より)

## 4 閉 会

事務局：

- ・本日は、駅前広場の平面計画について、貴重なご意見をいただき感謝する。いただいたご意見を内部で検討し、基本設計に反映していきたいと思う。
- ・本日の部会をもって、施設の機能性についてはまとめさせていただく。次回以降は運営組織等の協議を行っていきたい。今後ともよろしく願いたい。